令和4年度 大和小学校 学校関係者評価書
(学校の評価に対する関係者評価の結果)

【評価度】4…十分妥当である 3…妥当である 2…妥当に欠ける 1…妥当でない

評価項目	評価度	評価度の理由
認め合う子どもの育成	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA活動で来校した際に子ども達が気持ちよく挨拶をしてくれるのでとても嬉しく元気をもらっています。 ○普段の登校している小学生の様子や挨拶をする姿からも、認め合う姿が育っていると感じます。 ○1日、15日の大和の日、子ども達はみんな大きな声で挨拶してくれます。 ○学校に行くと、すれ違う子ども達みんなが目を見て大きな声で挨拶してくれます。掃除時間も黙々掃除が徹底されていて、とても気持ちが良いです。 ○県重点課題研究の推進とその結果、教師の自己評価、児童アンケート、保護者アンケートの結果から妥当であると考えます。 ○児童自己評価に比べ、教師評価が低いですが、もっとできるはずという先生方の期待の表れでしょうか。 ○立ち止まり挨拶は、子ども達に難しいことかもしれません。学校・家庭・地域の連携による取組が必要だと考えます。
鍛え合う子どもの育成	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○黙って掃除をすることも難しいですね。教職員集団の共通理解と協働による指導の徹底が必要だと考える。 ○黙って掃除の項目が益々今後上がっていくととても良いなと思います。 ○コロナ禍で体力づくりについては難しい側面もあったと思いますが、個人や学級学年で取り組んでいく体制が素晴らしいと思います。 ○アンケートの中に、トイレ・廊下・階段など、掃除の指導について書いてありましたが、教職員が担うのでしょうか？「家の手伝いをしましょう」「掃除の仕方を教えて下さい」と家庭に任せていいのではないのでしょうか。 ○ドッジボール大会や長縄大会への団結力は、とても素晴らしかったです。様々なイベントなどに取り組む大和っ子のみんなどはとても輝いていました。50周年記念式典でも。 ○新しい学校生活様式が定着したことがうかがえます。 ○コロナ禍の生活様式には慣れた感があります。今後は制約のない学校生活に戻ると想定されますので、特に体力づくりには力を入れる必要があると感じました。
学び合う子どもの育成	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善について考えを書くことの指導など先生方の努力がうかがえます。家庭学習の習慣化ができていることは素晴らしいです。 ○自らの考えを進んで発表する教育を行って頂いていると思います。 ○学習に向かう態度がとても良いと感じます。学力についても学力調査等の結果からもその伸びが伺えます。また、思考・表現の場も工夫されているのがわかります。 ○子ども達と出会った時は挨拶プラス一言声をかけています。しっかり目を見て自分の意見を物おじせず話をする子どもさんが多いです。
専門力量の向上・協働体制の充実	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○特に6学年の先生方においては、チームワークがとても良く、子ども達が前向きに物事に取り組めるように指導していただいていると思います。(娘が)6年1組ですが、勉強もスポーツも頑張っているのは担任の先生のおかげだと思います。 ○児童理解や教育相談など、子を大事にする指導がなされていると感じました。 ○学年協働システムが機能したことから妥当であると考えます。 ○電話連絡や教育相談など適切に家庭とコミュニケーションを図られていることが数値にも表れていると思います。先生方も自己研鑽に時間を使っていたいただきたいと思います。

家庭・地域との連携	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ○数値目標等がないために評価は難しいのですが、アンケートから見て、また周年行事から見てもその連携ができていますと考えます。 ○保護者アンケートに全て回答させていただき、ホームページにもアップされるなど一つ一つの声を受け止められていて、すごいと思います。 ○中学校と同じように、学年主任を中心とした組織運営がなされていることが素晴らしいと感じます。学年経営構想に基づくPDCAの取組が具体的に なされていることが素晴らしいと感じます。 ○地域行事に親子で参加される姿が増えてきました。地域の大人の顔を知ってもらえて嬉しいです。 ○このような会に参加しますと、地域の方の考えや思いを感じることができですが、まだまだかなと思います。特に交通の見守りの少なさや、子ども会員の少なさなど、近隣の市や区に比べるとまだまだだなと思います。 ○50周年記念事業の成果、PTA組織の改編、保護者アンケートを受けての学校回答の作成から十分妥当と考えます。 ○教育目標や取組が共有され、結果についてもお便りやホームページ等で家庭や地域に届けられていて、子ども達の学校生活の様子が伝わってきます。先生方との連携と努力があつてこそだと思います。
-----------	-----	---

その他

<ul style="list-style-type: none"> ○校長を中心とした全教職員の「やる気」と「努力」がうかがえました。次年度も共通理解、協働実践に頑張っていたきたいです。大利小の発展は、学校の力だけではできません。教育目標の共有化とともに育てたい子ども像に向けて家庭・地域とのますますの共同化が必要だと考えます。 ○学校運営協議会に参加させて頂き、ありがとうございます。来年度からもどうぞよろしくお願い致します。 ○大利小学校の先生方の雰囲気がとても素晴らしいと思います。 ○登下校や放課後の安全を考えれば、地域の人たちの見守りや学校への情報提供は、欠かせないと思っています。日頃から学校と地域（公民館）との連携の大切さを感じています。 ○「自分大好き・大利大好きな子ども育成」を目標に、日々先生方が様々な面で努力されていることがよく分かりました。また、PTAの委員会活動のスリム化については大賛成です。（その昔、私も委員決めや委員会活動時はとても苦痛でした。ボランティア制であれば参加しやすいと思います。） ○一年間お世話になりました。学校の先生方はじめ地域の皆様もPTAと手を取り合つて50周年を迎えられたこと、子ども達のために活動できたことは私にとって誇りであり、共に過ごした仲間達（先生方も）学んだことは私の財産です。この会を通じて学校の先生方がどれだけ子ども達のことを考え、育てて下さっているのかを深く知ることが出来て感謝しています。しばらく大利から離れますが、変わらず、大利のみんなを見守っていきます。自分だけの子どもを守る→全て子どもを守りたい!という意識に変わりました。 ○大利小学校の先生方の雰囲気がとても素晴らしいと感じます。 ○50周年記念事業において、児童が積極的に関わり、形としてできあがったことがたくさんあるとともに、児童の心の成長があったと思われまふ。こういった学校づくりが展開されており素晴らしいです。 ○「大利大好き」児童評価が「3.5」と高いことについて、創立50周年記念事業を通じて、大利小や自分たちが暮らす大利や大野城のことを調べたり、考えたりしたことが要因の一つになってくれたらと思います。学年ごとの評価で3.4年生の自己評価が低・高学年に比べて低い結果となっていますが、低学年のお手本となるべき、高学年のようになるべき、のような責任感が芽生えてきている証なのではないでしょうか。評価にあたり、資料と評価書の項目を合わせていただけるとわかりやすいのではと思いました。（→学校側のミスです。来年度は合わせます。申し訳ございませんでした。）一年間ありがとうございました。
--

大利小学校へのたくさんの称賛、激励のお言葉、ご意見等ありがとうございました。新年度も教職員が一丸となって、学校教育目標に向かって邁進していきます。御協力ありがとうございました。